

高橋はるみ委員 提出意見

○農山漁村を中心とした地域における女性の活動支援について

第6分野 活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の推進

2 女性の経済的地位の向上と就業条件・環境の整備

イ 女性の就業支援及び働きやすい環境の整備

現計画においては、我が国の農林水産業・農山漁村を再生させるためには、地域ビジネスの展開や新産業の創出を図る農山漁村の「6次産業化」を推進することが必要であり、その際には、農業就業人口の過半を占め、消費者のニーズや食の安全に関心が高く、農産物の加工、販売等の起業活動などで活躍の場を広げ、農山漁村地域社会の維持・振興に貢献している女性の参画が不可欠であるとしており、現在、地域農産物を活用した起業活動による農産物加工や販売等を通じて、地域の農業・農村において重要な役割を果たしている女性農業者の活躍を支援するとともに、起業活動、6次産業化の取組を更に発展させるため、各種補助事業の実施に当たり、女性による取組事例の情報提供等を通じて女性による事業活用を促進していると承知しています。

いわゆる都市型でない、広域分散型で農山漁村地域が多く第1次産業が基幹産業である地域においては、その産業構造や地域の実情などの社会的背景を踏まえ、女性の活力を地域づくりにつなげていくための施策を展開することが求められ、推進体制の強化が喫緊の課題となっています。

今後とも、地域における女性の感性を活かした産業の育成、地域振興を推進するため、女性の活躍推進に取り組む農業法人等経営体の見える化や女性の農業経営等への参画の推進、女性による起業・創業への支援など、女性の活動支援を一層推進すべきと考えます。

○女性に対する暴力に関する予防教育の推進について

第9分野 女性に対するあらゆる暴力の根絶

1 女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくりについて

ア 女性に対する暴力を容認しない社会風土の醸成

現計画の基本的な考え方において、「女性に対する暴力は、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害であり、その回復を図ることは国の責務であり、男女共同参画社の形成の上で、克服すべき重要な課題である。」と位置づけ、具体的施策では、「暴力によらない問題解決の方法が身につくよう、若年層を対象とする予防啓発、教育・学習の充実を図る」としています。

一方、この度のヒアリングの評価において、所管の文部科学省の取組状況は、「学校教育関係者等に対する会議等において、若年層を対象とした交際相手からの暴力の予防啓発教材について周知を図っている。」とし、「女性に対する暴力を容認しない社会風土の醸成に資するものであったと考えられる。」と評価しています。

これについては、生徒指導や総合学習の時間、人権教育の一部において、配偶者暴力等の指導や授業が行われる場合もあるという程度で、人権擁護委員による学校訪問や知事部局が実施する外部講師派遣で一部の希望校を対象に実施されている実態にあり、子どもがその成長する過程や教育を受ける期間において、一度も女性に対する暴力が犯罪となる重大な人権侵害であるという教育の機会がないままに社会人となり、成人となっている場合もあるものと思われます。

国では、夫婦間における「平手で打つ」「なぐるふりをして脅す」を暴力として認識する割合を成果目標として、「H27年度 100パーセント」を掲げていますが、H25年度9月においても、いずれも60パーセントに至っていません。

すべての国民が、その教育課程において、少なからず一度は「女性に対するあらゆる暴力に関する予防教育・学習」を受ける機会が与えられるべきと考えますので、次期計画において一層の取組強化を図るべきと考えます。

○民間シェルターと連携した自立支援の推進について

第9分野 女性に対するあらゆる暴力の根絶

2 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進

ウ 被害者の保護及び自立支援

配偶者からの暴力は、その防止から、通報や相談への対応、保護、自立支援等多くの段階にわたって、被害者に身近な行政主体である市町村をはじめ多様な関係機関等による切れ目のない支援が必要であり、配偶者からの暴力防止から被害者の保護、自立支援に至る各段階において、被害者の意思を尊重した施策の展開が求められています。

現計画においても、一時保護については、「民間シェルター等の積極的活用による適切かつ効果的な一時保護の実施を促す」とされており、特に、本道では、他の都府県とは異なる広域性も考慮し、地位に点在する民間シェルター等との一層の連携を図ることにより、地域に根ざしたきめ細やかな支援を行なっています。

しかし、被害者のライフコースを考慮した場合には、一時保護は新たな人生のスタートであり、一時保護後の自立した生活の早期の再建が極めて重要と考えます。

そのため、被害者が将来に向けて安心して安全な生活を送ることができるよう、精神的、身体的ダメージから回復し、経済的にも自立するために、被害者の状況と意思に応じた多様な支援が必要であり、一時保護を行う婦人相談所や民間シェルターが一体となって、そのための支援や自立支援に向けた総合的な体制づくりを進めていく必要があります。

現計画の「自立支援」に関しては、配偶者暴力相談支援センターにおける自立支援の促進についての記載に止まっていますが、民間シェルターにおける自立支援についても、その活用と婦人相談所及び配偶者暴力相談支援センターと一体となった支援体制の強化について明記すべきであり、現在実施している婦人保護施設退所者自立生活援助事業についても、民間シェルターが活用しやすい制度とすることを望みます。

○キャリア教育の意義や重要性について理解を深める取組について

第11分野 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実

2 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

ア 生涯学習・能力開発の推進

①総合的なキャリア教育の推進

現在、総合的なキャリア教育の推進については、高等学校関係者を対象としたキャリア教育の意義や重要性について理解を深めるための「キャリア教育推進アシストキャラバン」の開催や、「学校側が望む支援」と「地域・社会や産業界等が提供できる支援」をそれぞれ書き込むことができる機能を持つポータルサイトの運営を行っている」と認識しています。

また、企業による出前授業などの教育活動支援、職場体験・インターンシップ受入れ先の開拓やマッチングを行う、地域において学校のキャリア教育を支援する組織の整備を促進する「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」を行っているほか、男女共同参画の視点に立ったキャリア形成支援については、高校の進路指導等で活用できるブックレットの作成など様々な取組を推進していると認識しています。

本道において、女性の生の声を聴いたところ、女性がその多様なライフステージを想定しつつ、長期的な視点で自らの人生設計（ライフプランニング）を行うことができる教育の重要性を肌で感じられるところであり、男女がその性別にとらわれず能力を発揮しつつ、主体的に生き方を選択できるよう、キャリア教育の意義や重要性について理解を深める取組について、一層充実していただくことを望みます。

○地域における男女共同参画の推進について

第14分野 地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進

近年、人口減少や少子化・高齢化の進展により、労働力の減少、経済成長率の低下、社会保障負担の増大といった経済面の影響のみならず、子ども同士の交流機会の減少など健全育成機会の減少、子育て機能や介護機能の低下、地域社会における担い手不足など、社会面においても大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

特に、いわゆる都市型でない、広域分散型で農山漁村地域が多く第1次産業が基幹産業である地域においては、その産業構造や地域の実情などの社会的背景を踏まえ、女性の活力を地域づくりにつなげていくための施策を展開することが求められ、地域における推進体制の強化が喫緊の課題となっています。

1 「計画の構成」について

地域の実情や特性を踏まえた男女共同参画を推進しようとする場合、固定的性別役割分担意識が根強い傾向にあることや第1次産業における現場においては生産と生活の両面で女性が重要な役割を果たしていることなど、社会的背景において第6分野の「農山漁村の実現に向けた男女共同参画の推進」と共通する部分が多く、課題解決に向けた取組も共通するものが多い状況にあります。

家庭や地域、職場での男女共同参画を推進し、女性の活動を、より効果的に地域の活性化に繋げていくためには、この二つの分野を一体的、かつ総合的な計画とする構成とすることが望ましいと考えます。

2 「地域における男女共同参画推進の基盤づくり」について

現計画においては、地域ネットワークの構築、連携の促進が掲げられ、現在、本道を含め全国28の地域で関係団体によるネットワークが構築されていますが、施策の基本的方向や具体的施策に、このネットワークの目的や目指すべき方向性等が明記されていません。

地域の男女共同参画や女性活躍推進基盤として、今後とも、各地域で新たなネットワークが構築されていくものと考えられますが、次期計画においては、平成26年4月に基本問題・影響調査専門調査会において取りまとめられた「地域経済の活性化に向けた女性の活躍促進について」などに沿って、地域ネットワークや構成する主体ごとのより具体的な役割などを明確にするとともに、構築されたネットワークが今後とも維持され、当該ネットワークを活用した地域の男女共同参画や女性活躍推進に向けた取組が、継続して行われるよう国の支援について明記していただくことが望ましいと考えます。